

かけはし活動



老人施設、保育園・幼稚園を訪問



たてわり班活動

学年の仲間とは違った学びがそこにはある

～年齢を超えたつながりで、他とのつながりを実感する～



「かけはし活動」は、学年・学級の枠を取り外し、日常では学ぶことができない異年齢集団、校外の施設等の地域の人たちとの交流によって、社会を学ぶ貴重な機会となっています。

老人施設、保育園・幼稚園訪問

全学年が年に1回、地域にある老人福祉施設や幼稚園、保育園などを訪問します。お年寄りの方々との交流では、どのようなことをしたら楽しんでもらえるだろうか、どのようなかわり方をする中で、安心してもらえるかなどについて、事前学習をしっかりと行い訪問をします。

また、幼稚園・保育園といっても年長、年中、年少と発達段階によって交流する内容が違ってきます。児童は、発達段階を考慮した遊びの内容を考えたり、伝えるための言葉の選択をしたり、それを補助するための視覚的な説明ボードを作成したりし、相手意識を明確にした取組によって生きて働く力を身に付けます

たてわり班活動

全校を8つのグループに分けます。1つのグループは、1年生～6年生の異学年で組織され、6年生たてわりリーダーとして活動を進めています。

たてわり班で行う、校区内のごみ拾いや集会活動、12月には「ユニバーサルスタジオ帯小」として、たてわり班ごとのブースでそれぞれ出店して盛り上がります。2月には、1年間たてわり班をリードしてくれた6年生に感謝の気持ちを込めて、ささやかな贈り物と催しを行います。

異年齢だからこそ育まれる思いやりや感謝の気持ちを育てる道徳教育の一端を担う異議ある活動となっています。